

コロニアルクアッド



どんな街並みにも美しく映える、
スタンダードデザイン。

商品ラインナップ

アクリルコート仕上げ



CC262K*
ネオ・ブラック



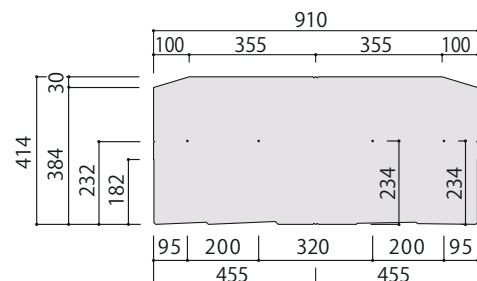
CC221K*
ココナッツ・ブラウン



CC277K*
ウェザード・グリーン

■形状図

◎本 体 (5.2mm厚)



■仕様

働き寸法	910×182
厚 さ	5.2
1枚の重量	約3.4kg
葺きあがり3.3㎡当たりの枚数	20枚
葺きあがり3.3㎡当たりの重量	約68kg
梱包入数	8枚

◎パレット積み寸法／横925×奥行925×高さ930

災害からまもる

■地震時の住まいの揺れを抑える軽い屋根材

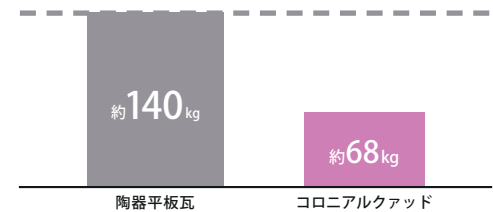
建物は重量が重いほど地震時の揺れが大きくなり、重心が高ければ揺れはさらに増大します。カラーベストは全商品が一般的な陶器平板瓦の約1/2という軽さ。建物の総重量を軽く、重心を低くでき、住まいの減震効果が期待できます。

屋根で減震



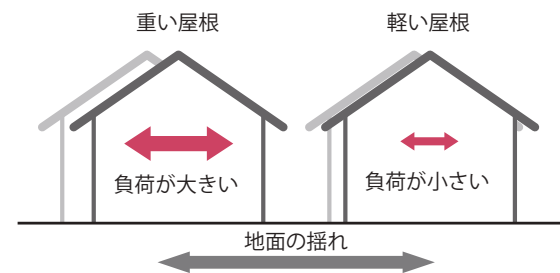
屋根は軽いほど
建物の重量を軽く、
重心を低くできるため、
減震効果が期待できます。

■陶器平板瓦との本体重量比較 (1坪当りの重さ)



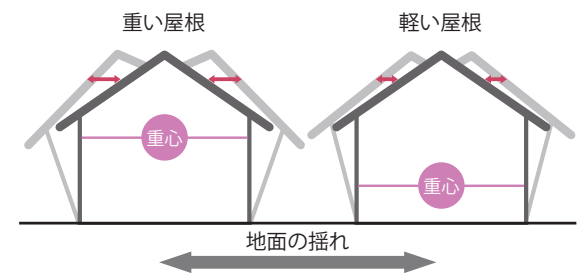
1 建物の重量を軽く

屋根が重いと大きく揺れ、建物に余分な負荷がかかりますが、屋根を軽くすると揺れとその負荷を小さくできます。



2 建物の重心を低く

軽い屋根で建物の重心を低くすれば安定感がより高まるため、地震時の建物の揺れ幅を小さくできます。



※屋根の重量だけが違う同じ建物に同じ加速度の力を与えた場合、建物にかかる負荷や揺れの違いをイメージしています。

■暴風・豪雨の影響を受けにくい設計

屋根材の大きな重なりと下葺材で豪雨でも漏水を抑えます。

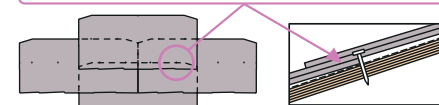
カラーベストは屋根材で一次防水を、下葺材で二次防水する2段階の防水設計。屋根材裏面に浸水した場合でも、下葺材で野地板への浸水を防ぎます。

■防水試験 (社内試験)



【実験条件】
●散水量：240mm/hr
●風速：30m/s
●試験時間：10分間
●面積：約2㎡
●4寸勾配、流れ長さ2m

一重部分がない大きな重なりのため、
優れた防水性を確保しています。



■防水試験結果

品名	裏面への漏水量	備考
カラーベスト	微少	—
セメント洋瓦	多	ジョイント部より浸入
陶器瓦	多	ジョイント部より浸入

防水試験結果はあくまでも性能評価の目安です、
台風などの自然の風とは異なります。
※ケイミュー屋根材には高い防水性がありますが、2次防水としての
屋根下葺材は必ずご使用ください。

屋根材の一枚一枚を釘で固定して、ズレや飛散を防ぎます。

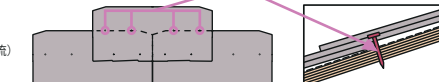
一枚一枚の屋根材を4本の釘で固定する釘留め方式で、強風による屋根材の飛散やズレを最小限に抑えます。

■耐風試験 (社内試験)



【実験条件】
●風速：
20m/s～60m/s (整流)
●試験時間：10分間
●面積：約4㎡
●4寸勾配、流れ長さ2.5m

一枚一枚が釘でしっかり固定されているため、
強風による飛散が防止できます。



■耐風試験結果

品名	20m/S	30m/S	40m/S	50m/S	60m/S
カラーベスト	異常なし				フラッターing
セメント洋瓦※	異常なし	異常なし	フラッターing	フラッターing	飛散
陶器瓦※	異常なし	異常なし	フラッターing	フラッターing	飛散

風速60m/sの試験でも飛散しませんでした。

耐風試験結果はあくまでも性能評価の目安です、
台風などの自然の風とは異なります。
※瓦の種類によって耐風性能は変わります。
※耐風基準は別途建築基準法に準じて設定しております。
詳しくは、屋根材総合カタログをご参照ください。